

東京2020オリンピック・パラリンピックの気運醸成に関する 区の実施について

●はじめに

本資料の構成について

- ▶本資料は、東京2020大会普及啓発部会及びボランティア部会がそれぞれ提案した、東京2020大会に向けた取組みの方向性に沿って、新宿区や各関係団体の取組みをご説明しています。

東京2020大会普及啓発部会が提案した取組みの方向性

- 取組み1 各団体の主体的な取組みにおける普及啓発の推進
- 取組み2 新宿区主催イベントと連携した普及啓発の推進
- 取組み3 ターゲットを明確にした効果的な普及啓発の推進

ボランティア部会が提案した取組みの方向性

- 取組み1 東京2020大会に係るボランティア参加の促進
- 取組み2 地域のボランティア活動・地域活動への参加の促進
- 取組み3 子どもたちのボランティア気運の醸成
- 取組み4 外国人のボランティア参加機会の創出
- 取組み5 障害への理解の促進



●東京2020大会普及啓発

2018年度 2019年度 2020年度

東京2020大会基金
の創設・運用

商店街における
フラッグの掲出

①各団体の主体的な取組みにおける普及啓発の推進

各団体が行う東京2020大会に向けた様々な活動を支援すること等により、多くの区民へのきめ細やかな気運醸成を実現していきます。

●(仮称)東京2020オリンピック・パラリンピック区民参画基金の創設・運用(2018年度～)

- ▶(仮称)東京2020オリンピック・パラリンピック区民参画基金を創設、運用し、新宿区内において各団体が行う東京2020大会気運醸成事業や文化・芸術活動を支援します。

【スケジュール】

2019年1月 新宿区議会第1回定例会へ基金条例案の提出

2019年4月 基金条例の施行 基金の運用開始

～2021年3月 東京2020大会気運醸成事業及び文化・芸術活動の支援

●商店街におけるフラッグの掲出(2019年度～)

- ▶商店街における大会エンブレム等のフラッグの掲出を支援します。
- ▶住民や来街者等が多く集まる商店街におけるPR効果は大きく、東京2020大会招致の際にも、商店街におけるフラッグ掲出によるPRが行われました。
- ▶希望する商店会等と連携し、新宿区内全域における東京2020大会に向けてのPRを行っていきます。

高田馬場流鏑馬の様子。新宿区内では、日本の文化・芸術を発信するような活動が多く行われている。



東京2020大会招致の際の商店街におけるフラッグ掲出の様子

●東京2020大会普及啓発

東京2020参画プログラムの推進

普及啓発物品の活用

地域イベントにおける東京2020大会普及啓発

●東京2020参画プログラムの推進（2017年度～）

- ▶2018年度は、夏祭りについて参画プログラムの認証を得た町会等もあり、少しずつ参画の輪が広がっています。中でも、四谷地域の各町会・商店会等が中心になって毎年行っている「四谷大好き祭り」では、ボッチャ体験などが行われました。
- ▶新宿区教育委員会と新宿区立小学校PTA連合会が主催する「ゆめじぎょう」も、参画プログラムの認証を取得しており、新宿シティハーフマラソンでの学校対抗応援合戦など子どもたちに向けた取り組みが進められています。



毎年多くの方が参加する「四谷大好き祭り」における、ボッチャ体験コーナーの様子

●町会・自治会等における普及啓発物品の活用（2017年度～）

- ▶地域団体等への東京五輪音頭のCDや振付映像DVD、東京2020はっぴの貸与を行っています。さらに、町会・自治会及び商店会に東京2020うちわ（計3,684本）を配布しており、各団体においてこうした物品を活用したイベント等を展開していただいています。

●地域イベント等における東京2020大会の普及啓発（2017年度～）

- ▶各地域イベントにおいて、東京2020大会の普及啓発コーナー（トリックアート撮影やパンフレット類の配布）を出展させていただいています。

【2017年度実績】 出展回数7回 【2018年度実績(見込み)】 出展回数20回



区立あゆみの家で行われた「あゆみ祭」での撮影の様子

●東京2020大会普及啓発

2018年度 2019年度 2020年度

● 777 イベント	● 500 イベント	● ラグビー ● 250イベント	● 直前イベント ● 聖火イベント
---------------	---------------	---------------------	----------------------

②新宿区主催イベントと連携した普及啓発の推進

新宿区が大会の気運醸成を目的として行うイベント等に各団体の力を結集させ、より効果的な普及啓発を推進していきます。

●大会777日前記念イベント

(2018年6月9日(土)／愛日小学校・牛込筆筒区民ホール／来場2,700名)

●大会500日前記念イベント

(2019年3月3日(日)／西新宿小学校・旧淀橋第二中学校)

●ラグビーワールドカップ パブリックビューイング

(2019年9月頃／会場未定)

●大会250日前記念イベント

(2019年11月下旬／落合第四小学校・落合中学校)

●大会直前イベント(2020年度／会場未定)

▶大会開催までの間に、各機会をとらえて大規模イベントを開催します。

▶イベント内容については、今年度東京2020大会普及啓発部会から提案された取組みの方向性である「新宿区主催イベントと連携した普及啓発の推進」を踏まえ、イベントの周知から運営までを各関係団体と連携して行っていきます。

●聖火リレーイベント(2020年度／会場未定)

▶新宿区内でも行われる聖火リレーを歓迎するためのイベントを開催します。



●東京2020大会普及啓発

新宿シティドレッシング

●新宿シティドレッシングの実施（2018年度～）

- ▶「新宿シティドレッシング」として、新宿区内を東京オリンピック・パラリンピック色に染め上げ、区民や来街者等へ広く東京2020大会をPRします。
- ▶大会エンブレムや大会マスコットだけでなく、区内中学生が考えた大会に向けての新宿区版スローガンを使用し、新宿区独自のドレッシングとして展開します。
- ▶「エレベーターラッピング」では、宝塚大学にデザインをご制作いただき、デザイン性が高く、大会に向けての高揚感を喚起するような迫力のあるラッピングを行います。



「大型ラッピング」の第一分庁舎イメージ。中学生の考案した新宿区版スローガンを中心に、大会気運が盛り上がる装飾を行います。

①大型ラッピング（施設壁面等への大規模ラッピング）

【会場】新宿区役所本庁舎・第一分庁舎・新宿コズミックスポーツセンター・新宿スポーツセンター・新宿文化センター・四谷特別出張所 計6か所

②区内全域ラッピング（区施設出入り口等へのラッピング）

【会場】特別出張所等区施設162所 ※主に自動ドアを予定

③エレベーターラッピング（エレベーター扉へのラッピング）

【会場】新宿区役所本庁舎・第一分庁舎 計50扉



ラッピングには、東京2020大会の象徴とも言える「大会エンブレム」を始め、大会マスコットの「ミライトワ」「ソメイティ」を使用します



エレベーターラッピングイメージ。新国立競技場で実施される「サッカー」「陸上」「パラ陸上」を始めとして、多種多様なオリンピック・パラリンピック競技を題材に、来庁者の大会への期待感を高めるような装飾を行います。



東京2020大会普及啓発

③ターゲットを明確にした効果的な普及啓発の推進

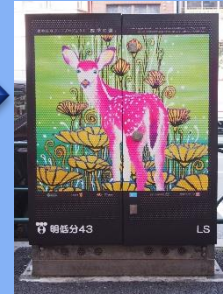
東京2020大会の普及啓発の対象（ターゲット）を明確にして事業を推進することで、取組みの効果をより一層高めていきます。

【子どもたち】

- 配電地上機器ラッピングの実施（2019年度～）
- 大会開催までの日めくりカレンダーの製作・配布（2019年度）

- ▶区立小中学校の児童・生徒を対象に絵画コンクールを実施し、新宿駅周辺やマラソンコース沿道の配電地上機器に、出展作品を用いてラッピングを行います。
- ▶同様に、それらの作品で大会開催までの日めくりカレンダーを製作し、配付します。

配電地上機器



新宿区立小学校PTA連合会実施の絵画コンクール「ボクと私の『夢』コンクール」の受賞作品。

- 陸上競技シルエットシール（2019年度～）

- ▶区立小中学校全40校の体育館壁面等に、棒高跳びや走り幅跳びなどの陸上競技のシルエットシールの掲出を行います。
- ▶子どもたちがアスリートのすごさを体感できるよう、世界記録の高さにシルエットシールを掲出するなどして、大会への期待感を高めていきます。

【高齢者】

- 東京五輪音頭講習会の実施（2018・2019年度）

- 【開催】30年6～7月の計5日
- 【会場】区内5会場【参加者】計324名
- ▶31年度は、規模を拡大して、区内10会場にて2回ずつ講習会を開催します。

【外国人等】

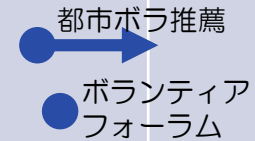
- 誰もが楽しめるイベントの展開（2019年度～）

- ▶大会500日前記念イベントでは、外国人の方にも楽しんでいただけるよう、さまざまな国の料理を提供したり、障害の有無に関わらず誰もが参加できる「ウォールパズルアート」を実施します。



東京五輪音頭講習会の様子。

●ボランティア



①東京2020大会に係るボランティア参加の促進

大会ボランティア及び都市ボランティアは、東京2020大会に直接参加することのできるまたとない機会であり、区民がこうした貴重な機会を逃すことがないように、情報発信等を積極的に行っていきます。

●都市ボランティアへの推薦（2018年度）

【推薦期限】12月21日(金) 【推薦者】147名の方を推薦しました

【推薦対象】区内在住・在勤・在学の方、区内で地域活動に参加している方など

- ▶「ボランティアフォーラム2018」の会場においても推薦申込みの受付を行った結果、申込件数をそれまでの2倍に増やすことができました。



「ボランティアフォーラム2018」の様子。74名の方にご参加いただきました。

●ボランティアフォーラム2018の開催（2018年度）

【開催日時】11月3日(土)午後1時30分～3時【会場】東京都健康プラザハイジア

【参加者】74名 【協力】新宿区社会福祉協議会・新宿未来創造財団

- ▶オリンピックボランティアの経験者や東京都観光ボランティアの方たちが、大会ボランティア等の具体的な活動内容やボランティア活動をする上での心構えなど、貴重な経験談を語りました。

- ▶参加者からは「やる気満々。とても勉強になった。」

「積極的に関わる姿勢が大切だと分かった。」

などの感想が聞かれました。

- ▶同会場にて新宿区社会福祉協議会による視野狭窄体験等の実施や、新宿区未来創造財団による各種ボランティア講座の案内など、日頃から地域で行われているボランティア活動等のPRにもつなげることができました。



東京都観光ボランティアの明石氏

ボランティアは小さなアンバサダーになれる。



三井梨紗子氏

ボランティアは行動一つでその国の印象を左右する存在。東京でオリンピック・パラリンピックのボランティアを経験できるのは一生に一度。この機会を逃さないで。

ボランティアとして活動するからには積極的に。その経験が大きな自信になる。



平昌2018オリンピックボランティアの韓氏(左)と庄子氏(右)

常に笑顔。元気よく挨拶。それがあれば語学がたなくても打ち解けられる。



進行役の鈴木章生氏

●ボランティア

②地域のボランティア活動・地域活動への参加の促進

東京2020大会をボランティアへの関心が高まる絶好の機会ととらえ、ボランティア活動・地域活動のPRや、参加の促進に取り組みます。

●新宿区主催イベントにおけるボランティア募集の実施（2018年度～）

- ▶大会500日前イベントを皮切りに、区主催イベントにおける会場整理やブース運営などの面で、ボランティアの方々の活動機会をつくります。
- ▶今後は、大会の成功に向けた新宿区の取組みをサポートしていただく、新宿区独自のボランティア制度を創設します。

●清掃ボランティア等の東京2020参画プログラム認証取得（2018年度～）

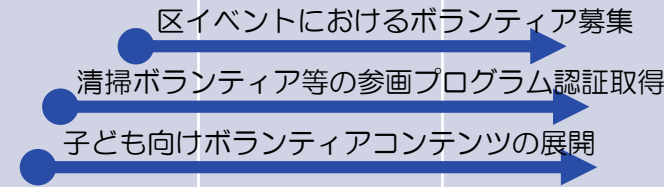
- ▶新宿区で実施している「ポイ捨て防止・路上喫煙禁止キャンペーン」や「新宿年末クリーン大作戦」、「新宿打ち水大作戦」について、30年度より新たに東京2020参画プログラムの認証を取得しました。今後も、各種ボランティアの認証取得を進めていきます。

③子どもたちのボランティア気運の醸成

次世代を担う子どもたちのボランティアマインドが醸成されるよう、ボランティア体験の機会を提供していきます。

●子ども向けボランティアコンテンツの展開（2018年度～）

- ▶大会777日前イベントでは、アスリートのアテンド体験（ボランティア体験）や、サッカー日本代表への応援メッセージ寄せ書きコーナーを展開しました。今後のイベントにおいても、ボランティアマインドを醸成するようなコンテンツを展開していきます。



「新宿打ち水大作戦」の様子。大会エンブレム入りののぼりやはっぴを用いるなど、2020年を意識した事業展開となりました。



●ボランティア

外国人へのボランティア情報の発信

誰もが楽しめるイベントの展開

講習会の実施

④外国人のボランティア参加機会の創出

新宿区に住み、働き、学び、活動する外国人が地域社会の一員として様々な地域活動やボランティア活動に積極的に参加し活躍する機会を創出します。

●外国人へのボランティア活動に関する情報発信（2018年度～）

- ▶大会ボランティア・都市ボランティアの募集については、新宿区多文化共生連絡会メールマガジンを活用したり、区内日本語学校にもチラシをお配りするなど、外国人の方への情報発信にも力を入れました。
- ▶ボランティアフォーラム2018では、区内日本語学校にもお声掛けした結果、学生等から参加のお申込みをいただき、都市ボランティア推薦の申込みにつながりました。



⑤障害への理解の促進

世界初の2度目の夏季パラリンピックの開催を好機ととらえ、障害理解に向けた取組みを一層推進します。

●誰もが楽しめるイベントの展開（2018年度～）

- ▶大会500日前記念イベントにおけるウォールパズルアートの実施など、区主催イベントの中で、障害の有無に関わらず誰もが参加・参画できるようなコンテンツを展開していきます。

●障害理解促進をテーマとした講習会の実施（2019年度）

- ▶街中での障害者へのサポートの仕方などを身に着けるセミナーなどを行い、障害理解を促進します。



大会777日前イベントにおける新宿養護学校のバスポムづくりコーナーの様子。